

2023年度 愛知校学校関係者評価委員会「2022年度活動評価」結果報告書

1. 開催日時2023年6月19日（月） 14:00－16:00
2. 開催場所日産愛知自動車大学校 多目的ルーム
3. 出席者

（学校外委員）地域代表 長谷川 博久 様 名古屋市港区役所 区政部長
企業代表 愛澤 正樹 様 東海日産自動車株式会社 取締役 執行責任者
関係団体代表 田中 明一 様 愛知県自動車整備振興会 部長
卒業生代表 寺西 貴弘 様 愛知日産自動車株式会社 係長 （整備科10期卒業生）

（学校内委員）学校長 松川 健一
教育部長代理 鈴木 貴久 教育部
課長 武内 健二 教育部（兼）学務部
（事務局その他）課長代理 中川 安行 学務部
統括 上谷 晃一 教育部
統括 今野 雄一 学務部

4. 議題

1) 挨拶(松川)

2) 学校自己点検・自己評価結果等説明 …「2022年度自己点検、自己評価報告書」のうち、特に下記の内容について説明
①昨年のご意見の受け止め ②学生募集・就職 ③教育活動 ④社会貢献活動

3) 意見交換

5. 議論

1) 結論 今回の自己点検、自己評価報告内容について、全委員からご意見を伺うことができた。
同時に、貴重な意見・指摘を頂いたので、以下の受け止めのとおり対応していく。

2) 項目別評価と質疑応答

項目	基準	所属	質問者	主な意見
報告	昨年のご意見の受け止め	学校 報告		・整備士を希望する人材を増やしていくためには、幼い頃から整備体験をすることが、大切と先回ご意見をいただきました。レゴブロックやペーパークラフトを使った自動車の製作体験や学童保育の整備体験見学の受入れ等を実施するようにしています。 ・クリーンパートナー活動を、今後も継続していきます。ツナギやユニフォームを着用して、学校の地域貢献を認知していただくようにしていきます。 ・動画コンテンツを利用した授業は、非常に有効とご意見をいただきました。コンテンツを充実し、学生の理解度も高まっていると感じています。特に留学生には学習効果が高いと認識しています。 ・自主性、主体性の取り組みを継続しています。この点に対し、ルーブリック評価で、取組み効果の見える化をしています。最終的にはPROGを活用して、客観的な確認をしています。また、卒業後の日産販売会社様へのアンケートからも、効果を把握するようにしています。
意見	学生募集・就職	東海日産	愛澤様	・北陸のエリアに関して、新幹線が通り、富山は愛知より東京の方が近くなりました。募集活動に関する現在のエリアの区切りは、このままでよいのでしょうか？ ・留学生は国家2級整備士資格に合格していても、漢字や言葉の問題で、現場に貢献出来るかという問題があります。全て出来る必要は無いが、整備記録簿は作成出来るようになって欲しいかと思います。整備記録簿を書けるようになることにフォーカスした教育メニューを実施していただき、日産校の特徴としていただけないでしょうか。特に来年は、多くの留学生が入学することが予想されるので、整備記録簿の作成に関する動画教材等を前もって準備されるのはどうでしょうか。
		愛知日産	寺西様	・やはり留学生は、漢字を書くことが難しい。そのため、現場では記録簿作成の際に日本人の先輩スタッフがついて教える必要があり、工数が掛かっています。整備記録簿を、留学生が一人で作成できるようになれば、大変ありがたく思います。
		学校 回答、受止め		・日本人学生の募集には非常に苦戦しており、日産販売会社、ならびに日産グループ企業と連携して、学生募集を強化して参ります。 ・福井の嶺南地区は実質京都校の担当エリアになっており、一部の福井出身学生は京都校へ入学している現状もあります。ただ、北陸、長野等のエリアの区切りは、様々な要素もあるため、それを踏まえて検討が必要と考えます。 ・留学生に関する教育指導に関して、ご期待に応えられるようにしていきたいと考えます。
意見	教育活動	東海日産	愛澤様	・現場で必要になるのが、ハラスメントに直結するアンガーマネジメントです。これは、ルーブリック評価では、どの指標に該当しますか？ ・ICT教育に関して、これからの時代は紙への手書きではなく、データ入力となっていきます。この点はメーカーが導入するシステムの仕組み(ツール)と、学校での教育結果がスムーズに繋がればより良いと思います。
		港区役所	長谷川様	・オートサロンの出展車両を、いかにPRをしていくのか。もっとたくさんの方に知っていただけると良いかと思います。他の日産校でも出展されているのでしょうか。
		学校 回答、受止め		・ルーブリック評価指標にて、アンガーマネジメントは感情制御力が該当します。特に、サポートが必要な学生には、学校のカウンセラーによるサポートを受けていただくようにしています。以前に比べて、最近は、大人しい学生が増えてきています。 ・以前はメーカーシステムを学校で活用することをしていたましたが、多大なコストがかかっていたことがありました。日産のスキャンツールや部品検索システムなどを活用する勉強は継続しています。今後は、日産ビジネスカレッジと学園本部で連携を図り、またどのような連携が可能かを検討したいと思います。 ・オートサロン出展は、京都校も実施しています。京都校は1年をかけて制作しており、愛知校は2ヶ月半という短期間で制作しています。
意見	社会貢献活動	港区役所	長谷川様	・この学校を、地域の方に、更に知って頂くが必要かと思います。近隣の商業施設や、地域イベントのブース出展等、今後も続けていただければと思います。
		東海日産	愛澤様	・日産本社が、対外的な活動をするときは日産の名前入りのピブスを利用しています。愛知校も取り入れたら、よりPRできるのではないのでしょうか。 ・環境に関する子供向けの「わくわくエコプログラム」というものがあります。このプログラムを、子供向けのイベントやオープンキャンパスで実施してもよいのではないのでしょうか。
		学校 回答、受止め		・地域のイベントブースの案件があれば、またご紹介いただけましたらありがたく思います。
意見	まとめ	愛知自動車整備振興会	田中様	・学生が自主的に学園祭を企画していくという点、大変素晴らしいと感じます。 ・6月末から国土交通省の方と、高校訪問してお話を伺います。自動車に興味を持っていただく方を、増やせるように尽力していきます。